

経営比較分析表（令和元年度決算）

滋賀県 甲良町

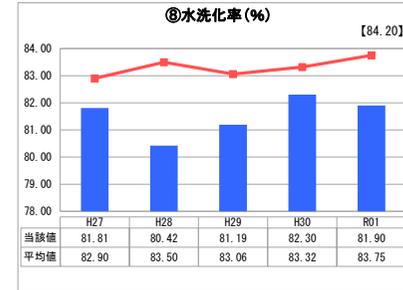
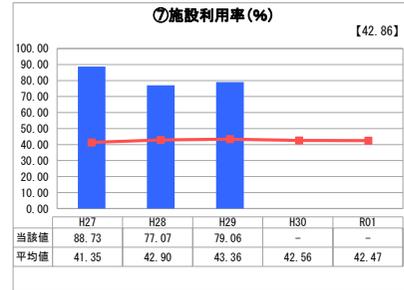
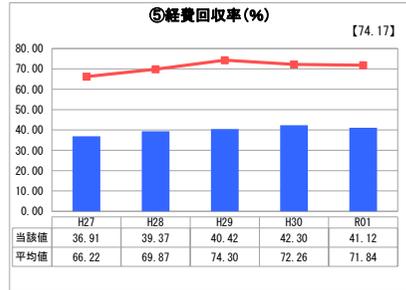
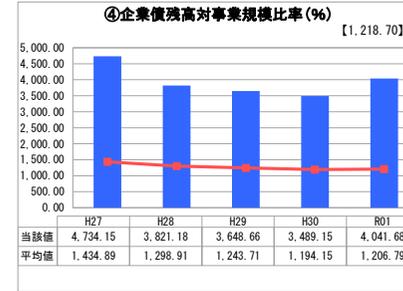
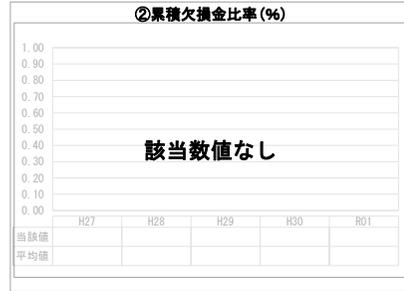
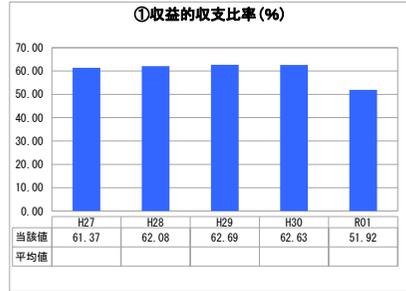
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
44.10	該当数値なし	99.93	85.15	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,903	13.63	506.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,863	4.09	1,678.00

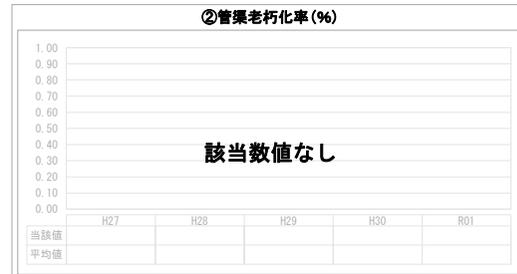
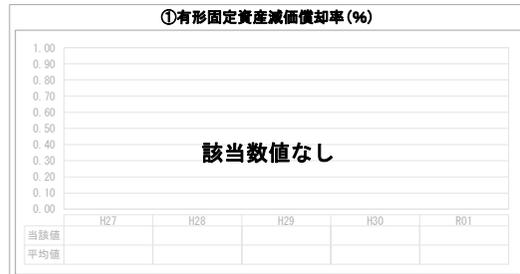
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、起債の利子償還金と業務委託費について収支バランスを考えた取り組みが必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、下水道事業のため借入れた企業債の償還金が多額であり、依然高い値となっている。今後将来的な経営の健全化のため留意が必要。

⑤経費回収率は、計画的な維持管理に努めるとともに、料金設定だけの問題か否かの分析と将来的に使用料の増額改定を視野に入れた企業運営の必要がある。

⑥汚水処理原価は、有収水量1m³あたりの処理コストが高いと考えられ、投資の効率化等経営改善に努める。

⑧水洗化率については、普及率は高い。よって、未接続宅へは引き続き接続の促進を行う。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超え早急に更新が必要な管路はなく、将来的には集中した管路の更新や修繕の負担増が考えられ、計画的な更新と財源確保が必要である。

全体総括

運営については料金収入だけでは賅えず一般会計からの繰入に頼っているのが実情である。近年、町の施策として「住まいの補助金」を実施し、水洗化世帯は増加しているが、繰入が不要になるほどの大幅な収入増には繋がらないと予想される。

類似団体との比較が今後の経営改善の目標となる。よって、県内の市町との交流に重点を置き、協議会などで「経営戦略の活用方法やストックマネジメント計画の実践」を取り入れ、継続的に経営改善を進めていく。また、適切な維持管理・改築修繕を実施するとともに使用料の増額改定の検討を行うなど、健全な経営努力を必要とする。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。